

第16回遠野市史編さん委員会 会議録

日 時	令和4年11月9日（水）13：30～14：45
場 所	遠野市立図書館 視聴覚ホール
出席委員数	9人中9人出席
出席委員	荒田昌典、岩崎真幸（リモート）、大橋進、兼平賢治、熊谷常正、 今野日出晴（リモート）、斉藤利男、菅原伴耕、藤田俊雄
事務局	海老寿子 市民センター所長 朝倉優香 市史編さん室長 前川さおり 市史編さん室次長 小島芳枝 市史編さん室主任 阿部信代 〃 熊谷航 〃 高橋唯 〃 主事

（進行：前川次長）

1 開会

2 挨拶（大橋委員長）

3 報告（進行：大橋委員長）

(1) 令和4年度経過報告

質疑なし

(2) 事業の進捗状況について

事務局より資料にもとづき報告の後、各部会長から発言。

- ・ 考古の遺跡地図は、番号未附番のものなどをきちんと整理して発注したい。
- ・ 中世は、3～4月に集中して鍋倉城、横田城、養安寺跡の調査をしたい。
- ・ 近世は、新たに奥友家、館林家の資料が出てきた。村の文書や寺子屋関係など非常によい資料なので、取り込んでいきたい。
- ・ 近現代は、遠野の行政資料が少ない点をどう補完していくか課題。伝統的なものと革新的なものをどう接合させて地域像を描いていくかも課題になってくる。
- ・ 民俗も市域がひとつでなく地域性を考える必要がある。近現代と重なる部分も、情報交換をしながらすみ分けていきたい。
- ・ 今度発刊の市史叢書は、三閉伊一揆後の面白い内容が書かれている。積極的に市民に紹介したい。

(3) 資料編の仕様について

質疑なし

4 意見交換

各グループ、部会ごとに、委員から各巻の章立て、進捗状況、課題等を報告。

- ・ 考古／古代・中世の資料編刊行後の、通史編の構想を考える組織が必要ではない

か。グループの関わり方も含め、事前の検討が必要。

- ・ 考古資料編の安倍館遺跡は、中世ではなく古代に入るのでは。
⇒ 原稿の書きぶりを見て検討
- ・ 『吾妻鏡』を整理することで阿曾沼氏の素性がよく見えてきたのが、大きな成果。
- ・ 養安寺跡や松崎観音裏山に、北緯40度以北にしかないとされてきた古代末期の防御性集落が見つかった。新たな発見であり、通史編もにらみ、考古グループと調査について相談したい。
- ・ 近世は、領主の歴史だけでなく遠野の地域像を、具体的な資料を示しながら描きたい。
- ・ 近現代は編目を改変し、時代像を大事にするような節立てを行っているところ。
- ・ 民俗は、時間軸を今に置きながら過去の成果をどう取り込むか、あるいは地域性をどう捉えるかなどが課題。
- ・ 民俗で、現代編と重なる部分のすみ分け、地域の情報伝達や講中など、自らが関わっているところに注目している。
- ・ 民俗は聞き取り調査が大きなウエイトを占める。コロナ禍で特に市外の委員は調査が難しいが、事務局がカバーしている。
- ・ 近現代と民俗は重なる部分が多いので、調査情報などは事務局を通じ互いに情報共有したい。
- ・ 花巻には十和田信仰の講中があったが、遠野にもあるか？
⇒ 宮守では見られない。
県内でも地域により違う。石碑のデータベースで生かせる部分は提供したい。
- ・ 奥友家、館林家の文書は近代のものもかなりある。近現代の委員にも紹介したい。

5 その他

特になし

6 閉会